

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

小学校の閉校記念式典が、それぞれの学校で行われました。一四三年もの歴史と伝統ある学校。地域の皆様と共に歩み、多くの有為な人材を輩出してきた学校。長南魂がここで培われてきたものと思っています。

思えば、平成26年2月に町長に就任して間も無く、当時の片岡教育長から、小学校の現状と将来の学校教育に対する考え方を聞かされました。それまでは、既存の小学校を残すことも選択肢の1つとして考えていました。が、学校の小規模化が進み、本来の学校教育が出来ないとなれば、子ども達のためにも統合するしかない判断をしたところであります。

統合は、児童数の推移、町の財政状況、統合までの準備期間を考慮し、3年後の29年4月としました。その旨を関係課に指示をし、教育委員会では翌月に住民説明会を開催するなど直ぐ対応してくれました。説明会では「本当に29年に閉校できるのか」とか「統合する必要があるのか」という質

問もありました。それでも多数の方の賛同をいただきましたので、統合に向けて本格的な準備に入りました。このたびの閉校は、この時点で分かっていたことなのですが、いざ3月31日を以って閉じることとなると、寂しさが込み上げ、愛惜の念を強くするところでもあります。町民の皆様には、母校の閉校は万感胸に迫る思いではないかと思えます。

閉校記念事業では、各学校それぞれ趣向を凝らした企画で、参加された方々は、学校との思い出を改めて心に刻んでいるようでした。閉校記念事業を運営していただきました実行委員会の皆様をはじめ、学校関係者並びに地域の皆様の御支援と御協力に厚くお礼申し上げる次第であります。

4月からは、いよいよ統合小学校が開校します。開校の準備に携わっていただきました全ての皆様に深く感謝を申し上げますとともに、町民の皆様には「新生 長南小学校」に対しましても絶大なる御支援を賜りたくお願い申し上げます。

「教育のまち長南」を町挙げて推進して行くではありませんか！